

# 消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404  
FAX 984-4011

一人一人の対策で大規模火災を防止

## 地震火災の対策をしましょう

大地震発生時には、電気が原因で起こる火災が多く発生しています。特に、阪神・淡路大震災や東日本大震災では、電気が原因の火災が半数以上を占めました。

### ▶ 通電火災に注意

地震発生時に起こりやすい停電は、復旧後に「通電火災」を引き起こすおそれがあります。避難所などに避難している場合には、出火時の初期消火が行えず火災が拡大する可能性も。次のような状況で通電したときに出火しやすいので注意しましょう。

- 1 電気製品の配線が、転倒した家具などの下敷きになって損傷している。
- 2 落下したカーテンや洗濯物などの可燃物が、暖房器具や照明器具に接触している。
- 3 転倒した暖房器具や照明器具が、可燃物に接触している。



### ▶ 地震火災を防ぐためにできること

#### 【事前の対策】

- 1 家具を固定するなど転倒防止対策をする。
- 2 暖房器具や照明器具の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない。
- 3 消火器や住宅用火災警報器を設置する。

#### こんな対策も必要です

- ・災害が発生したときにどうすれば良いか、日頃から家族で話し合う。
- ・地域の防災訓練に参加して、災害が発生したときの対応方法を学ぶ。



### 【地震直後に注意すること】

- 1 電気製品のスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜く。
- 2 石油ストーブなどからの油漏れがないか確認する。
- 3 避難するときはブレーカーを落とす。



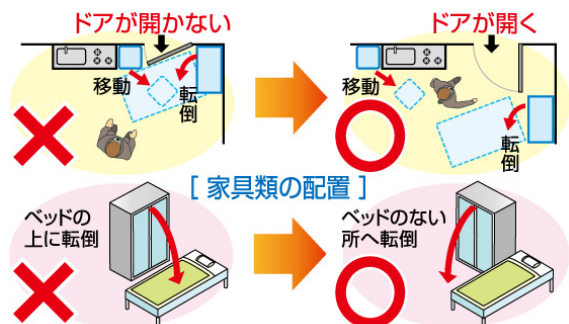
### 【地震後しばらくしてから注意すること】

- 1 電気製品やガス・石油機器は、損傷がないか、近くに可燃物がないかを確認して使用を再開する。
- 2 再通電後は、電気製品に煙や臭いなどの異常がないか注意する。



### ▶ 家具が転倒しても安全な配置を

家具が倒れてけがをしたり、避難経路をふさいだりすると、避難が遅れて危険です。固定できない家具は、位置や向きを工夫して配置しましょう。



▲ 出典：東京消防庁HP「広報とうきょう消防第6号」